

茨城大学地球変動適応科学研究機関、環境省「アジア環境人材育成イニシアティブ(ELIAS)」共催シンポジウム

# 大学院教育を再考する

## ～フィールド演習の実践から見る教育の理念～

今日、大学院教育では単なる知識の伝達にとどまらない様々な社会的要求があり、そのためには座学による教育手法のみならず、フィールド演習を含む多様な教育手法が必要とされています。そうしたなか、茨城大学では「茨城大学大学院サステナビリティ学教育プログラム」をはじめ、農学研究科でのインドネシア演習、教育研究科での大学院GPなど、複数のフィールド演習型の大学教育が展開されています。

本シンポジウムでは、同様のフィールド演習を行う各大学の教育担当者をお招きし、これらの教育実践を横断的かつ総合的に考えるとともに、それぞれの教育理念、目的に合わせた教育手法のあり方について議論していきます。

日時：2010年11月24日(水) 13:30-17:00

場所：茨城大学水戸キャンパス 理学部インタビュースタジオ

### プログラム

#### 13:30 開会挨拶

- ・三村信男(茨城大学地球変動適応科学研究機関・機関長)
- ・小池恵理(環境省環境教育推進室)

#### 13:45 基調講演 「大学教育への時代的要請と実践演習の役割」

- ・中川光弘(茨城大学農学部教授)

#### 14:15 各大学における実践演習の取り組み

- ・茨城大学の実践演習プログラム
  - ・田村誠(茨城大学地球変動適応科学研究機関准教授)  
+千葉宣朗(理工学研究科博士前期課程1年)・勝沼法朗(農学研究科修士1年)  
「サステナビリティ学教育プログラムの理念と実践」
  - ・加藤亮(茨城大学農学部准教授)+日野田悠太・山内彩乃・大谷みなみ(農学研究科修士1年)  
「地域サステナビリティ実践農学教育について: 熱帯農業フィールド実習」
  - ・橋浦洋志(茨城大学教育学部教授)  
「学校を担う教師力の育成」
- ・他大学の実践演習プログラム
  - ・小貫元治(東京大学新領域創成科学研究科特任准教授)  
「YES, IPoS, APIEL～東京大学サステナビリティ学教育プログラムにおけるサマースクール型プログラムとフィールド演習型プログラム～」
  - ・大槻知史(高知大学総合教育センター准教授)  
「高知大学学士課程における社会協働教育プログラム」

(休憩)

#### 16:25 ディスカッション：各実践の教育理念とその効果

- 伊藤哲司(茨城大学人文学部教授)・原口弥生(茨城大学人文学部准教授)  
郡司晴元(茨城大学教育学部准教授)・石筒覚(高知大学人文学部准教授)

総合司会：上柿崇英(茨城大学サステナビリティ学教育プログラムコーディネーター)

お問い合わせ

icas@mx.ibaraki.ac.jp, 029-228-8787  
http://www.grad.ibaraki.ac.jp/gpss/

# アクセス



## 茨城大学水戸キャンパス

〒310-8512 水戸市文京2-1-1

JR水戸駅(北口)バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大行(栄町経由)」に乗車、「茨大前」で下車。(バス乗車時間は約30分)

## 水戸地区(人文学部, 教育学部, 理学部, 図書館, 事務局等)配置図

